

看護部紹介

平成 22 年 4 月 21 日改訂

(1)はじめに

当院は八尾市の中核病院として、急性期医療を担っています。
患者さま中心の安全で質の高い看護を提供するために、専門的知識と技術の研鑽に努め、礼節をもって、愛情豊かな、心が伝わる看護を目指して、日々業務に取り組んでいます。

八尾市立病院は、平成16年5月1日に新築移転した近代的な病院です。
生駒の山を仰ぐ緑豊かな素晴らしい町、八尾市に位置します。
一緒に働いてみませんか？



キャッチフレーズ

♡ 心安らく看護を ♡ 心が通う看護を ♡ 心が届く看護を



看護部理念

- I. 親切・思いやり・優しさをもって看護します。
- II. 安全で良質な看護を提供します。
- III. 患者さまのニーズ・権利を尊重した看護を提供します。

基本方針



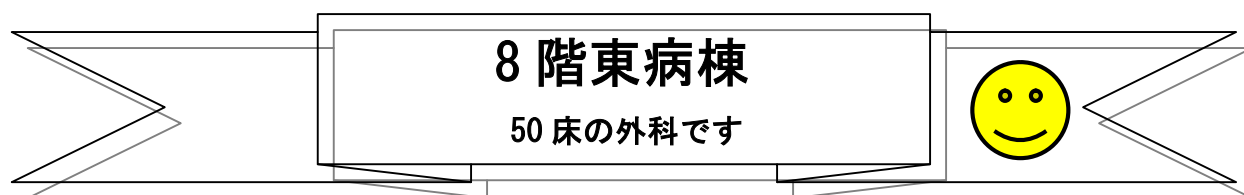
- I. 常に患者さまの立場に立った思いやりのある安全な看護を実践します。
- II. 高度医療に対応できるよう専門的知識・技術の研鑽に努め、看護レベルの向上を図ります。
- III. 患者さまのニーズと信頼に応えられるよう、患者さま中心の適切な看護を提供します。
- IV. 継続的な業務改善により、効率的かつ健全な病院経営に参画します。
- V. 看護学生や研修生の教育を支援します。

平成22年度看護部目標

- I. 質の高い看護を提供するための人材育成を行います。
- II. 業務の統一化を図り効率的な看護を提供します。
- III. コスト意識を持ち、病院の経営に積極的に参加します。
- IV. 明るい笑顔と丁寧な対応で、患者さんに信頼される看護を提供します。

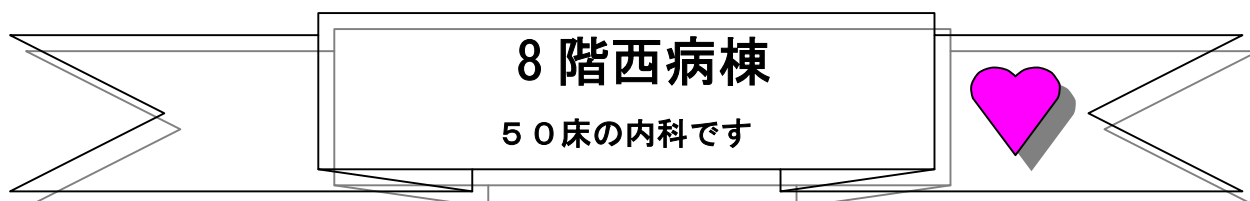


(2) 病棟部門紹介



8階東病棟は、主に消化器の手術をされる患者さまが中心に入院されておられます。病室も広々とし、入院が14時・退院が10時、退院は平日にお願いしており、患者さまからは、「まるでホテル並み」と言われています。決まりだけホテル並みと言われないよう、皆の笑顔と看護も5つ星が頂けるよう日々努力しております。

「若く」て「美人(?)」で「優しい」と自負している向学心旺盛な看護スタッフがいる病棟です。夜景がとってもきれいです。こんな病棟で働きたい人、大歓迎です！



8西病棟は、消化器内科を中心とした内科病棟です。消化器疾患の専門的な治療に対応できるよう、医師と協力しながら日々看護に取り組んでいます。患者さまには分かりやすい言葉で丁寧な説明を行い、状況に応じた看護を実践し、安心して入院生活を送っていただけるよう心がけています。

また、医師、薬剤師、ソーシャルワーカーなど他部門のスタッフとの連携を密に行い、患者さまの早期社会復帰を目指した支援にも努めています。

笑顔をモットーにした、チームワーク抜群な明るい元気な病棟です。



消化器のことなら
お任せください!!!



7階東病棟

48床の混合です



泌尿器科・口腔外科・皮膚科・形成外科・眼科の混合病棟です。また、人工透析室が併設されています。当病棟は、主に手術を目的とした患者さまが入院されています。手術後は痛みの緩和対策を常に心がけ、安心して手術が受けられるよう看護支援をさせていただいております。

人工透析室では、緊急透析や維持透析導入の対応をさせていただいております。

維持透析導入の患者さまには、受持ち制看護を導入し、医師・臨床工学技士・管理栄養士・医療ソーシャルワーカーと共にチーム医療を推進し、近隣の通所可能なクリニックへの円滑な転医と自己管理の支援に努めています。

また、院内の糖尿病教室では9月の「透析療法」を担当させていただいております。

7東看護師一同、「親切・思いやり」の気持ちを常に持ち、安全で良質な看護が提供できるよう日々努力しております。



(人工透析室)

7西病棟

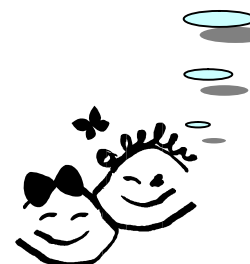
50床の内科です



循環器科・血液内科の混合病棟です。循環器科では虚血性心疾患・不整脈などの患者さまに心臓カテーテル検査や冠動脈形成術などの治療をしています。血液内科では化学療法を中心とした治療を行い、無菌室2床を配置し、末梢血幹細胞移植も行っています。患者さまとご家族に安心して入院生活を過ごしていただけるよう他の医療スタッフと共働き看護を提供していきたいと思っております。日々、笑顔と優しさを忘れず、スタッフ一同頑張っています。



簡易式クリーンベッド



6 東病棟

45 床の混合です



整形外科・耳鼻咽喉科を主とした混合病棟です。

整形外科では、大腿骨頸部骨折や椎間板ヘルニア、膝関節症など運動機能系の疾患で治療や手術を受けられる患者さまが入院されます。医師・理学療法士と連携しながら、急性期からリハビリ期を和らかな雰囲気ですべて支援しています。

また、病棟内には耳鼻咽喉科の治療室を設置しており、中耳炎や扁桃炎、甲状腺腫瘍など手術目的の患者さまや、顔面神経麻痺・突発性難聴などの治療目的で入院される患者さまの退院までのお手伝いを、医師・看護師が協力して、明るい笑顔で対応させていただいております。

私たち看護師は、研修に参加するなど看護の質の向上を目指し、安全にそして安心して入院生活を過ごしていただけるよう、チームワークの良さで、患者さまに少しでも早く元気になっていただきたいと日々頑張っています。



(耳鼻咽喉科治療室)

6 階西病棟

39 床の小児科です



小児科で39床の病棟です。主に急性期患児の看護(15歳まで)を行っておりますが、慢性期の腎炎、ネフローゼ、ITP(血小板減少性紫斑病)等の患者さまも入院されておられます。優しい先生と明るい看護師たちで愛情を持ってお世話させて頂いております。

慢性期の患者さまの長期入院に関しては院内学級があり、学校生活が継続できるように努めています。

月1回のお話し会や7月の七夕、12月にはクリスマス会を行い、患者さま及びご家族の方に安心して入院生活を送っていただけるように、スタッフ一丸となって日々頑張っています。



当院では平成19年4月からプレイルームを開設し、常勤保育士1名が配置され、プレイルームでの絵本やおもちゃ遊びなど、子供たちが少しでも楽しく安全に入院生活を送れるよう工夫しています。

医療スタッフと連携を密にしながら、入院している患児の病状・年齢・発達に応じた保育を提供し、患児が楽しく入院生活を送れるよう努めています。



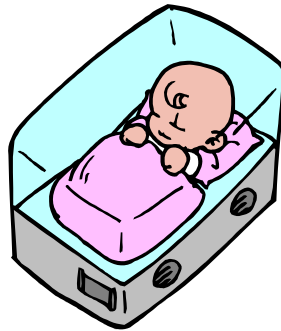
新生児集中治療部 (NICU)



NICU（新生児集中治療部）では早産や低出生体重児、または何等かの病気を持っている赤ちゃんに対し、治療・看護を行っています。NICUの病床数は6床で、平成19年11月には地域周産期医療施設としての認定も受けました。

また、院内出生児ばかりでなく、NMCS（新生児診療相互システム）の協力施設として、他施設で出生した児も入院のため搬送されます。

小さく生まれた赤ちゃんは、長い期間、保育器の中での生活となります。赤ちゃんが受けるNICU環境からのストレスを最小限にし、健やかに発達・発育ができるようにディベロップメンタルケア、母と子のつながりを大切にしたカンガルーケアを導入し、看護スタッフ14名は「赤ちゃんに優しい看護の提供」に努めています。



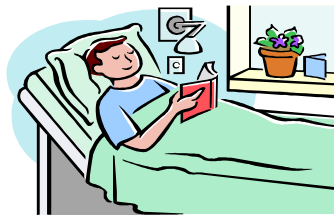
5階東病棟

48床の混合です



5東病棟は、内科（呼吸器、糖尿、一般）と外科、脳外科、救急病床を備えた混合病棟です。生活習慣病である糖尿の患者さまには、病気に対する理解を深め、糖尿病と仲良く付き合っていくための指導教育を行っています。

また、救急病床を備え、入院も多く、重症度の高い中、患者さまの安全を第1に考え、「親切で思いやりのある看護」が提供できるよう、看護師一丸となって日々の看護業務に取り組んでいます。



5階西病棟

39床の産婦人科です



ワ~イ!!



新しい先生方との協力のもと、平成18年4月の産婦人科再開から早や4年目を迎えました。

これまでの分娩件数は年間平均700件を数え、増加傾向にあります。

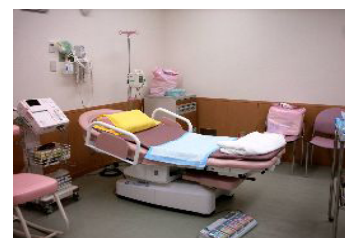
他地域からの紹介も多く、相変わらずハイリスク妊婦の周産期管理が今迄以上に求められるようになり、大切な赤ちゃんの出産を小児科・NICUの先生方との密な連携プレーのもと、「安心・安全・安楽」を礎に頑張っております。産後は、母児同室を行っていますので、感染予防のため、入室制限（父、祖母、祖父のみ可）をさせて頂いております。

上記以外の方での赤ちゃんとの面会は、新生児室窓越しとなります。

最近では、婦人科の手術や癌化学療法の症例も増え、専門的治療を要する患者さまも多くなっています。

産科・婦人科の混合病棟としての役割を十分に認識し、女性病棟の特性を踏まえながら看護師、助産師の専門性を活かし、皆様のお役に立てますよう更に邁進してまいります。引き続き皆様のご支援をよろしくお願い致します。

素敵な分娩室ですよ!!



集中治療部



集中治療部においては、刻々と変化する患者さまの状態を的確に捉え、判断し、救命・生命維持を第一優先に対応しています。

医療体制は、麻酔科医・看護師・臨床工学技士・検査技師などの医療スタッフと協力して24時間生体情報の監視を行い、手術後や重症度の高い患者さまに迅速で的確な治療と看護を実践しています。集中治療部は、様々な監視モニターや点滴のライン・人工呼吸器などの機器類に囲まれ、患者さまにとっては特殊な環境になります。しかし、機械的処置に終わることなく、治療と並行して可能な限り、患者さまの生活リズムを考慮して、日常生活の援助を行っています。また、私たち看護師は、集中治療の厳しい現場でも「笑顔と優しさ」を忘れないで、患者さま・ご家族の思いを大切に、信頼関係を築き「親切・思いやり・優しさ」の心をもって看護をすすめております。



(3) 外来部門紹介

外来では1日約700人の患者さんの対応をさせていただいています。

当院の外来部門は4つのブースで構成され

10ブースは、外科・形成外科・整形外科・脳外科・皮膚科・麻酔科・ペイン

11ブースは、眼科・耳鼻咽喉科・口腔外科

12ブースは、一般内科・循環器科・消化器内科・泌尿器科・化学療法科

13ブースは、小児科・産婦人科 を担当しています。

診療を受けられる患者さんが安心して治療・検査を受けていただけるよう、安全で親切な対応を優しい気持ちと笑顔で日々頑張っています。

また、皮膚排泄ケア・救急看護の認定看護師を中心に、より専門的な看護を提供できるよう、ストマ外来・リンパ外来・フットケア外来を担当。ACLS研修などを通して緊急時にも対応できるよう取り組んでいます。

医師・看護師・検査技師・MSWなどスタッフ全員で協力しながら、安全でよい医療を提供できるよう取り組んでおります。



先生！セキが
できるよ！



内視鏡センター

当センターでは、上部内視鏡（胃カメラ）・下部内視鏡（大腸ファイバー）を多数行っています。スタッフ一同、力を合わせて、患者さまに苦痛を与えず、検査・治療がスムーズに行えるようサポートしています。安全・安心な検査や治療が提供できるように、日々学習し知識・技術の修得に努力しています。

放射線科

当科では、4名の看護師で患者さまのサポートをさせていただいています。

最近、地域の医療機関から検査を目的に来院される患者さまも増え、地域の中核病院としての機能も果たしています。

また、循環器科との連携もと、緊急検査や血管内治療にも対応しています。

検査や治療を受けられる患者さまは多くの不安を持っておられると思います。私達が関わる時間は短時間ではありますが、患者さまが「ここに来て良かった」と思ってもらえるような看護が提供できるよう、専門的知識や技術の研鑽に努め、「患者さま主体の看護」を目標に努力しています。

通院治療センター

乳がんのみならず他の悪性腫瘍でも、化学療法や分子標的治療の奏効率向上は著しいものがあります。そのため、抗がん剤治療は手術後や再発だけでなく手術前にも積極的に行われるようになってきました。当院のセンター内には、リクライニングチェア 9 台、ロッカー、トイレが設備され専任の看護師が常勤しています。チェア間はカーテンで遮断され、患者さまのプライバシーを守りながら静かな環境で治療を受けることができます。

私達は治療をお受けになられる患者さまが、安心して、できるだけリラックスできるような環境整備に努め、患者さま個々の QOL の向上を目指して日々努力しています。皆さまのご意見を伺いながら、思いやりの精神を忘れず、患者さまに満足していただけるよう心がけて行きたいと思っておりますので宜しくお願いします。

地域医療連携室

地域の医療機関・介護施設と連携し患者さまが安心して医療を受けることができるように対応しています。受診科のご相談、息苦しかったり又痛みが強くてお待ちできない場合には、⑥番受付に声をかけていただきますと看護師が関わり配慮いたします。これからも親切な看護を目指し努力していきます。

救急外来

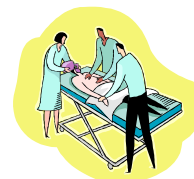
救急外来は救急看護認定看護師 1 名を含め 4 名です。

夜間・休日・日勤は外来看護師と手術室看護師を含めた人員で構成しています。

内科、外科および小児科（中河内輪番制）を主に、二次救急医療に対応しています。

救急外来は 24 時間 365 日対応しており、救急車の搬入は月平均 250 台、来院患者数は月平均 1900 人です。時間外の緊急手術・緊急胃カメラ・緊急心臓カテーテル検査などにも対応しています。

中河内救命救急センター、救急隊との連携を図り、コメディカルスタッフ参加のもと、ACLS 研修等積極的に取り組んでいます。また現場での実践能力を高める為にシミュレーション形式による救命・救急処置等の研修会を行い、救急患者様に高度な医療が提供できるように日々努力しています。



中央手術室

中央手術室は手術する部屋が7室（1室は外来手術専用です）あります。スタッフは看護師長1名、主任看護師2名、看護師16名、看護助手1名の計20名です。

手術件数は、新八尾市立病院になってから増加しており、年間3,000件以上の手術に対応しています。スタッフ一同、毎日、明るく元気に頑張っています。

私達手術室の看護師は、全身麻酔で手術を受けられる患者さま（手術当日入院される患者さまは除く）に、少しでも手術に対する不安を減らしていただこうと思い、手術前に患者さまを訪問しています。患者さまが不安に思っておられることや疑問点・要望などをお伺いし、できる限りの援助をさせていただきます。手術後も全身麻酔で手術を受けた患者さまの様子を伺いに、お部屋を訪問させていただきます。手術室での看護が十分にできていたかお聞きし、次に活かすためです。看護研究にも励み、研究・工夫した内容が企業で製品化されるなど成果をあげています。

患者さまが安心して、少しでも安楽に手術を受けられるよう、患者さまに満足していただけるように手術室スタッフ一同、努めています。



(4) 看護部内委員会活動

業務委員会活動

業務委員は、「看護部の基本理念に基づき、安全・安楽・且つ効果的な看護を提供する」ことを目的に、看護業務の円滑化・改善と健全経営・看護業務の質的向上・情報の連携を行っています。日々進歩する医療を踏まえ看護基準の作成・改善・手順の作成・改善と本院看護業務の要となっています。月1回の定例会を開き、看護が必要な人に適切に提供されているか観察し問題点を抽出して改善に取り組んでいます。メンバーは主任看護師が大半で、チームワークがとっても良く、業務改善に燃えパワフルに活動しています。



正しい注射器の色は？



教育委員会活動

教育理念

八尾市立病院看護部の理念に基づき、患者さま及びその家族に質の高い看護サービスを提供するための教育計画・教育支援を行う。また、個人が専門職業人として成長発達できるように支援し、働きやすい環境を提供する。

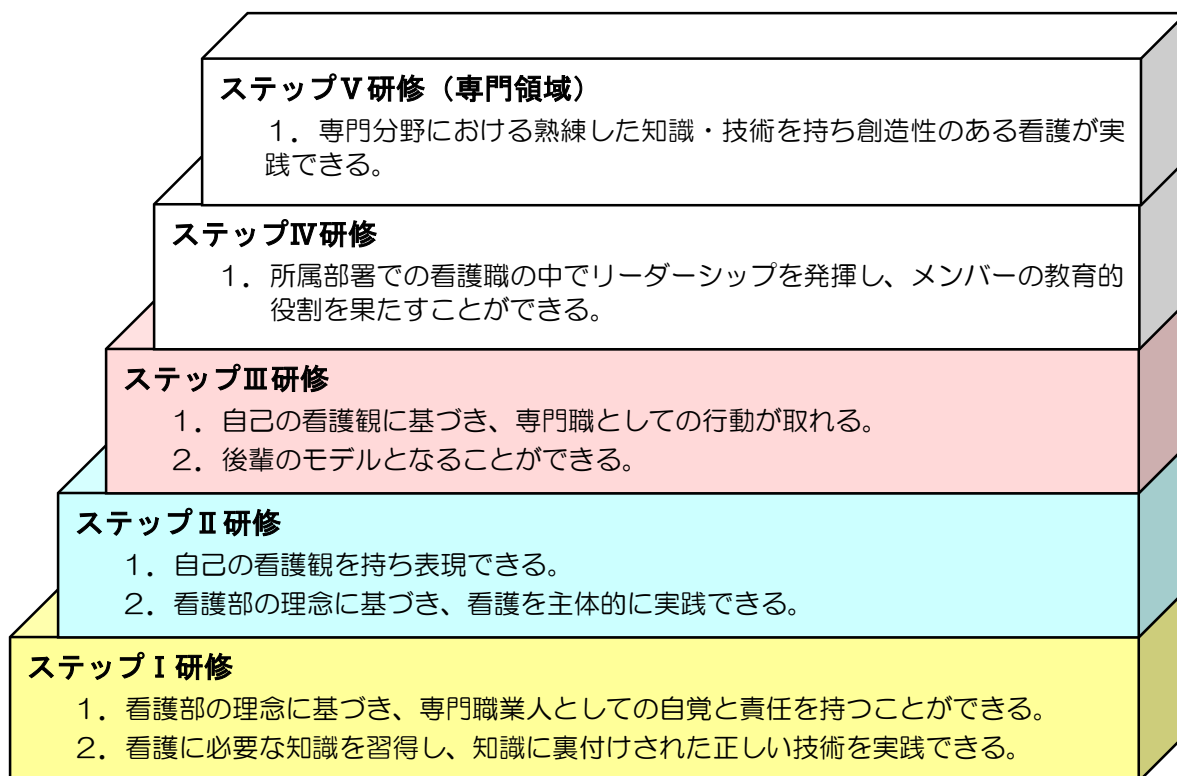
基本方針

1. 病院及び看護部の理念・活動方針を具現化するために必要な教育を行う。
2. 経年別の能力開発を行い、自己課題に取り組む姿勢を養う。
3. 看護実践能力を高め、専門職業人としての成長を促す。

教育目標

1. 個別的な質の高い看護サービスが提供できる。
2. 医療チームの一員として役割を自覚し、リーダーシップが発揮できる。
3. 専門職業人として主体的に学習し、自己を向上させることができる。
4. 研究的姿勢で看護に取り組むことができる。

【ステップ別研修】



【当院の認定看護師等の資格取得状況】（平成22年1月時点）

- ◇ 皮膚・排泄ケア認定看護師 … 2名
- ◇ 救急看護認定看護師 … 2名
- ◇ 緩和ケア認定看護師 … 2名
- ◇ 感染管理認定看護師 … 1名
- ◇ 認定看護管理者 … 2名
- ◇ 思春期保健相談士 … 3名
- ◇ NST認定看護師 … 1名
- ◇ 口腔ケア認定看護師 … 1名
- ◇ 呼吸療法認定士 … 8名

当院看護部では、キャリア開発を積極的に支援しています。

臨床指導者会の活動

当院の実習病院としての活動は昭和 47 年より継続され 38 年目を迎えます。現在では高校・専門学校・大学等 10 施設から実習生を受け入れています。特に新病院への移転後は、交通の便も良くなり実習依頼が殺到し対応に苦慮しているような状況です。当看護部は代々、実習生の受け入れには積極的に「後輩を育てながらともに成長していく」ことをモットーにしてきました。

現在、委員会は 14 名で編成されています。各部署の臨床指導者達と連携を図り、看護部のキャッチフレーズである「心安らぐ看護を」「心が通う看護を」「心が届く看護を」を実践できる後輩育成を目指しています。

特に心がけていることは、時代と共に電子カルテ導入施設が多くなった今日、看護の基本と共に、めまぐるしい医療の変遷の中で生き残っていく為に、いかに看護師自らが広い視野を持ち、常に自分に磨きをかけ自己成長していかなければならないかを気付かせる「場」としていることです。

指導者自身も自分に厳しく、自分を見失うことなく、思いやる気持ちを忘れず人との関わりができるよう日々自己啓発に努めると共に、学生達に目標とされる看護師を目指しています。将来、お互い看護することの喜びを分かち合い、共に働けることができれば、それは私達にとっても倍の喜びであり願いでもあります。



分娩監視装置装着による学習風景



メモを取り、学んだことを身につけようとする熱心な姿勢は、必ず将来に役に立ちます。